



46 室内ペタンク

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

目標の玉に対して、いかに多く自チームのボールを近づけられるかを競うゲームです。

1 ねらい

グループ内でのコミュニケーションを促進し、親睦を深めさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 プレーホール 24名程度（待ち時間なしで運営できます）
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1時間（人数により変わります）

3 職員の支援について

- ・物品貸し出し時にルールや安全についての説明を行うことができます。依頼があれば活動支援に入ることができます。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	特になし	
個人	・運動ができる服装・内ズック	
自然の家	・ペタンク用具一式 (レッド球6、ブルー球6、ビュット1、サークル1) ・メジャー	2セット

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 用具の準備
- ② ルールの説明と諸注意
- ③ 活動
- ④ まとめ・片づけ

7 その他

- ・カーリングに似たルールで、初めてプレーする人でも充分楽しむことができます。
- ・1度にプレーできるのは、「6人組×2グループ×2セット」の24名になります。それ以上の人数では交代で行います。
- ・ボールの代わりにディスクを使用する「ディスクン」というゲームの道具も貸し出しできます。人数が多く（25～48人程度）なった場合、室内ペタンクと併用して利用できます。

競技方法とルール

〔実施人数について〕

通常、下記のような人数で実施します。

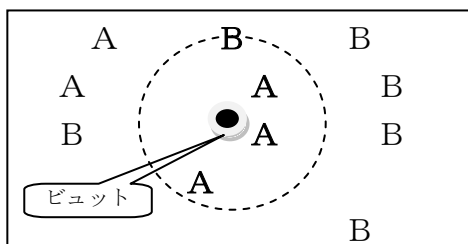
- 3人対3人（トリプルス）・・・1人2個ずつのボールを持つ
- 2人対2人（ダブルス）・・・1人3個ずつのボールを持つ
- 1人対1人（シングルス）・・・1人6個ずつのボールを持つ
- 6人対6人・・・・・・・・・・1人1個ずつのボールを持つ（人数が多いときにおすすめ）

〔ゲームの進め方について〕

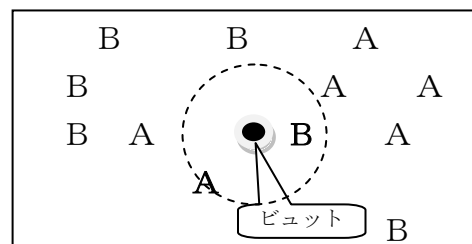
- ① ジャンケン、トス等で勝ったAチームの1人がスタート地点となる場所にサークルを置き、その中に立って、標的となるビュットを6m～10mの距離に投げる。（3回まで投げ直し可、それでも距離が合わない場合は相手チームが投げる、その際、先行はAチームのまま）
- ② ビュットが6～10mの距離にとまった後、引き続きAチームの中の1人が、できるだけビュットの近くに止まるように投げる。（チーム内での投球順は自由）
- ③ 次に、Bチームの人が、Aチームのボールよりビュットに近づくように第1球目を投げる。両チームが1球ずつ投げ終わった後、どちらのボールがビュットに近いかを計る。（目測で分かるときは計測しなくてよい）
- ④ Aチームの方がビュットに近かったら、遠い方のBチームが次に投げる。ビュットに一番近いボールのチームは、相手チームが自チームよりビュットに近くなるまで待つ。
- ⑤ ボールが相手ボールや自チームのボール、ビュットなど当たって動いても、そのままゲームを続ける。
- ⑥ 12個全部のボールが投げ終わった時点で得点を数える。

〔勝敗と得点の数え方〕

- ① 味方のチームのボールをビュットに一番近く配置させたチームの勝ち（下図参照）。
- ② 負けた側のビュットから一番近いボールより、内側にあるボールの数が得点になる。
- ③ 1メーヌ（セット）終了時のビュットを中心にサークルを置き、そこからビュットを好きな方向へ投げて、第2メーヌを開始する（投げる場所を固定するなど、スペースに合わせてルールを変えてもよい）。このようにして、何度かメーヌを繰り返し、13点を先取したチームが最終的に勝ちとなる。



第1メーヌ Aチームは3点
Bチームは0点
第1メーヌ終了時3対0でAチームがリード



第2メーヌ Aチームは0点
Bチームは1点
第2メーヌ終了時3対1でAチームがリード